

地域再生計画事後評価

事業実施主体	青森県東北町	地域再生計画名	東北町「小川原湖環境再生」計画	
計画期間	平成20年度～平成24年度		事業期間	平成20～平成24年度

①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	計画	実績		達成状況に関する評価	
	汚水処理人口普及率43.5%から63.6%に向上させ、小川原湖の自然環境保全回復	汚水処理人口の普及率64.1%に向上	目標値は達成できた。徐々にではあるが、小川原湖の自然環境(水質)に改善・回復が計られてきている。		
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況	計画	実績		波及効果に関する評価	
	農業・水産業及び町産業の活性化	町民の生活環境の向上、小川原湖の水質環境の改善、町産業の活性化	整備により、町の生活・自然環境が改善・向上した。特に小川原湖の水質及び環境が改善した。また公共事業(下水道工事)による経済効果もあって活性化にも繋がった。		
③事業の進捗状況	事業名	整備量(その他の事業では取組内容)		事業進捗に対する評価	目標の達成に対する評価及び今後の対応
		計画	実績		
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業(整備延長)	19,015 m	21,805 m	事業費の減少があったが、計画より上回った。	概ね目標どおりに事業推進できた。今後も未普及解消と地域の活性化のためにも、継続して進めていく。
	個人設置型浄化槽整備事業(整備基数)	300 基	292 基	事業費の減少があったため、計画より下回った。	概ね目標どおりに事業推進できた。今後は未普及解消とPR活動を強化しながら事業を継続していく。
その他の事業	水辺の美化運動	地域住民、関係団体が湖畔・流入河川の環境維持・保全のための清掃活動等の支援	美化が進み、景観もよくなりよかった	今後も活動(事業)に協力・支援し継続していく	
	EM菌投入事業	EM菌の効果を検証し、継続実施して水質浄化を図る	水質の浄化につながりよかった	浄化の効果も実証でき、農地などにもよいということで今後は個人・個人でやっていくこととする	
	シジミ貝増養殖事業	種苗貝の人工的な生産、放流を行う	徐々に効果がでてきている	徐々に効果がでてきているので継続して進める	
計画外で独自に実施した事業	各種イベントの実施	湖水まつり、桜まつりの内容の充実を図り、参加型のイベントとして定着を図る	つり大会・桜まつり・湖水まつり(花火)とイベントとして定着しつつある	継続して進めていく	
④計画全体の総合評価	「小川原湖の環境再生」は地域の生活自然環境(水質)の改善・向上にほかならない。今回の計画において、小川原湖の環境は徐々にではあるが改善・回復しつつあるし、公共水域など生活環境も改善向上し、建設工事等による経済効果もあり町の活性化にも繋がって有意義だった。				
⑤評価結果の次期計画への反映状況	町の主要産業である農林漁業と次世代を担う子供たちの育成のために、水資源は欠かせないものであることから公共用水域の水質の悪化は、当町が対応すべき大きな課題の一つとなっている。この中にあって、汚水処理施設の整備による公共用水域特に小川原湖の水質保全・再生は、一歩ずつではあるが改善していると同時に地域の活性化につながっている。将来に向け、自然環境の保全・再生及び町のさらなる活性化のため今後も汚水処理施設の整備を継続していく必要がある。				